

獣医学生実習受入れの現状と 今後の方向性について

千葉県農業共済組合連合会

家畜部 菅澤勝則

実習受入れ状況（平成23年度）

- 夏休み集中実習（全国農業共済協会） 35名
- 臨床体験実習（中央畜産会） 5名
- クラス単位実習 2大学クラス
- 個人実習 25名（のべ90日）

内 容

- 家畜診療、定期検診の同行
- 症例検討、勉強会の参加

現状の問題点

1. 家畜診療所職員数の減少
2. 不明確なねらい
3. 教育と現場ニーズの乖離

家畜の頭数と職員数の推移

項目	S56	H3	H13	H23
乳牛 ¹⁾	76,000	69,000	51,000	32,000
肉牛 ¹⁾	12,000	22,000	24,000	19,000
種豚 ¹⁾	20,000	28,000	30,000	34,000
職員数 ²⁾	224	210	122	105

1) 単位：頭（家畜共済加入の概数）

2) 獣医師＋授精師、単位：人

現状の問題点

1. 家畜診療所職員数の減少
2. 不明確なねらい
3. 教育と現場ニーズの乖離

畜産現場における獣医療ニーズ

1. 診断治療（内外科、繁殖）
2. 家畜栄養診断（設計）
3. 群管理による経営論

学生実習の今後の方向性

1. 求められる獣医療の姿
(採用人数、仕事の内容)
2. 大学・産業界の分担
3. 何を実習するか

1. 求められる獣医療の姿

①臨床獣医師は何人必要か

項目	S56	H3	H23	H33 (H23対比)
乳牛飼養頭数	76,000	69,000	32,000	22,000 (70%)
職員数	224	210	105	74 (70%)
新規採用数 (獣医師)	14	10	4	2

1. 求められる獣医療の姿

② どのような仕事内容が求められるか

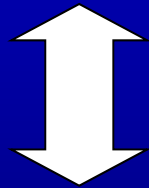
- ルーチンの診療
- 栄養、群管理の定期点検

学生実習の今後の方向性

1. 求められる獣医療の姿
(採用人数、仕事の内容)
2. 大学・産業界の分担
3. 何を実習するか

2. 大学と産業界の分担

大 学：講義、付属農場実習



連 携

産業界：応用的実習

学生実習の今後の方向性

1. 求められる獣医療の姿
(採用人数、仕事の内容)
2. 大学・産業界の分担
3. 何を実習するか

3. 何を実習するのか

大 学：診療基礎、家畜に触れる、
栄養学、経営学

産業界：ルーチン診療の体験、
栄養充足・群管理の点検
の体験